

**令和6年度
宮崎県職員採用試験
【大学卒業程度（畜産）】**

専門論文試験課題

<課題>

本県の農業産出額（令和4年）は、3,505億円と全国第6位であり、その中でも畜産の産出額については、2,349億円と全体の67%を占め、過去最高となったところであり、本県農業における重要な基幹産業です。

また、全国における家畜飼養頭羽数の状況も肉用牛では全国3位、豚が全国2位、ブロイラーが全国2位（いずれも令和5年2月1日現在）となるなど、全国有数の畜産物供給基地となっています。

しかしながら、最近の畜産を取り巻く情勢は、不安定な国際情勢や円安などの影響から、大変厳しい状況にあります。

そこで、以下の項目から2つを選択し、その現状と課題、さらにその課題に対してどのような取組を行うべきか、加えて取組の成果としてどのような状況が想定されるかについて述べなさい。

- ①輸入飼料に依存する畜産物の生産構造
- ②宮崎県で取り組むべき家畜防疫
- ③畜産分野におけるスマート化の推進
- ④脆弱な生産基盤の強化
- ⑤消費者ニーズと販売戦略